

宇宙開発利用部会 調査・安全小委員会（第43回） における非公開審議の概要について

○本日の非公開審議においては、JAXA から、公開審議の補足説明として、「パイロ弁の開動作不良」及び「推進薬供給の閉塞」に関連する具体的な生データ等が示された。

あわせて、H3 ロケット及び H-IIA ロケットのパイロ弁の設計、H3 ロケットのパイロ弁交換の際に発生する設計変更、さらに、資料 p29 以降の両ロケットへの影響評価に対する判断の根拠が示された。

○その上で、委員からは、特に、H3 ロケットの設計変更に伴うリスクに対する確認があった。

その点について、JAXA から、

- ・機械的インターフェースの整合性については解析及び試験によって確認されること、
- ・電氣的インターフェースについても物理的なインターフェースに加え、ソフトウェアの対応については軽微な変更で対応できる

という説明があった。

○そうした確認が行われた上で、小委員会として、

- ・JAXA が進める原因究明の絞り込みの方向性については妥当である、
- ・本日の公開資料 p34 に示された
 - ✓H3 ロケットは、H-IIA ロケットで実績のある、仕組みの異なるパイロ弁に交換することで懸念は排除される、
 - ✓H-IIA ロケットは、懸念は排除される、
という JAXA の評価については妥当である

との判断をいただいた。